

平成25年度 予算編成方針



平成24年10月11日

飛躍への挑戦! 第2期産業振興計画



I 平成25年度予算編成のポイント

1

課題解決先進県を目指し、施策のさらなるバージョンアップを促進

- 各部の裁量的経費については経常的・投資的経費とも、基本的に前年度予算額を限度とするが、課題解決先進県を目指した新たな事業への重点的な配分を実施するため「課題解決先進枠」を創設。
- 「課題解決先進枠」への要求に際しては、創意工夫による事業の組み替え・バージョンアップを促進するため、事業の見直し等により前年度から削減した額の1.5倍（※一般財源ベース）まで要求可能。

課題解決への新たな取組みに対応するため 「課題解決先進枠」を創設

2

南海トラフ巨大地震対策を次のステージへ抜本強化

- 国や県による新たな想定を踏まえ、県民の皆様の命を守る対策を着実に実施。
- 津波避難対策などの発災時の対策のみならず、応急・復旧・復興時の対策も含めた南海トラフ巨大地震対策の更なる推進。

「南海トラフ巨大地震対策の推進」 新規、拡充分等に係る必要経費を積み上げ

3

県経済や雇用への配慮と財政の健全化の両立を推進

- 県民の暮らしと雇用を支えるため、普通建設事業費の一般財源総額（地方債含む）を確保し、立ち遅れたインフラ整備を推進する。
- 国の経済対策により積み立てられた基金事業終了後も、産業振興計画の強力な推進や日本一の健康長寿県づくりの着実な実行などに必要な事業を継続。
- 費用対効果等の観点から既存施策について根底からの見直しを実施。

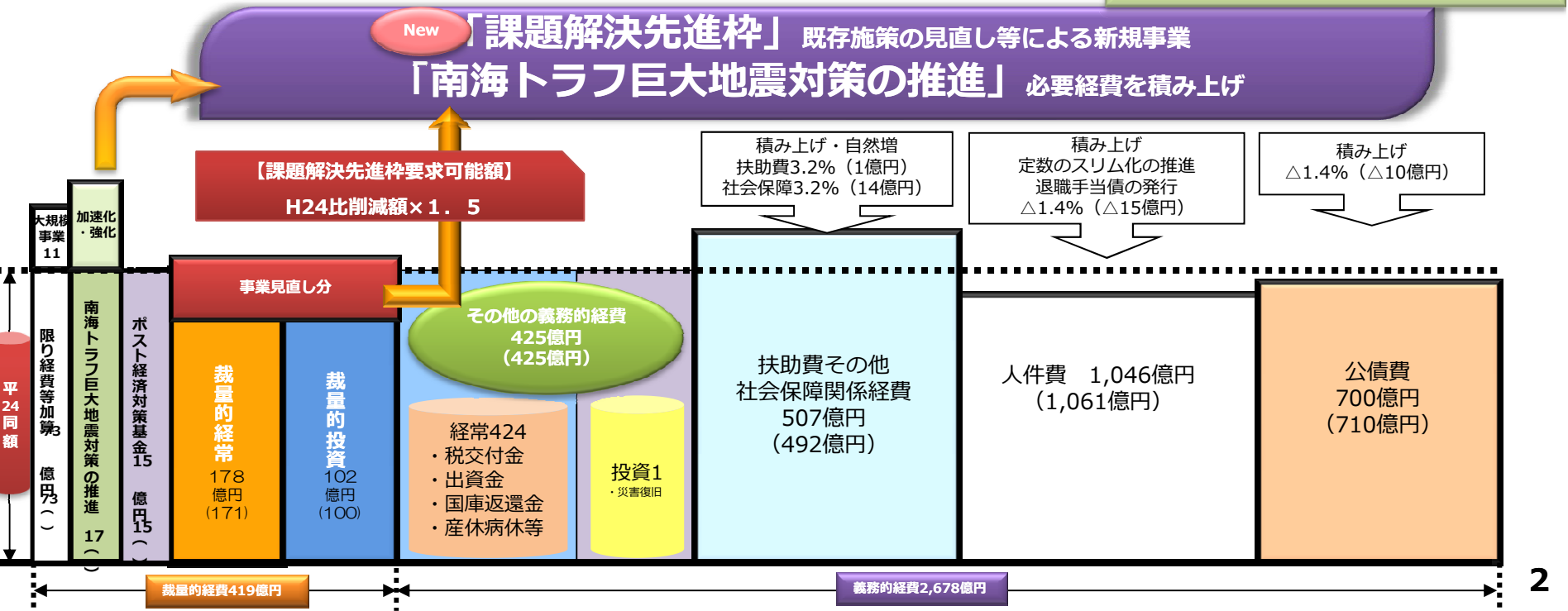
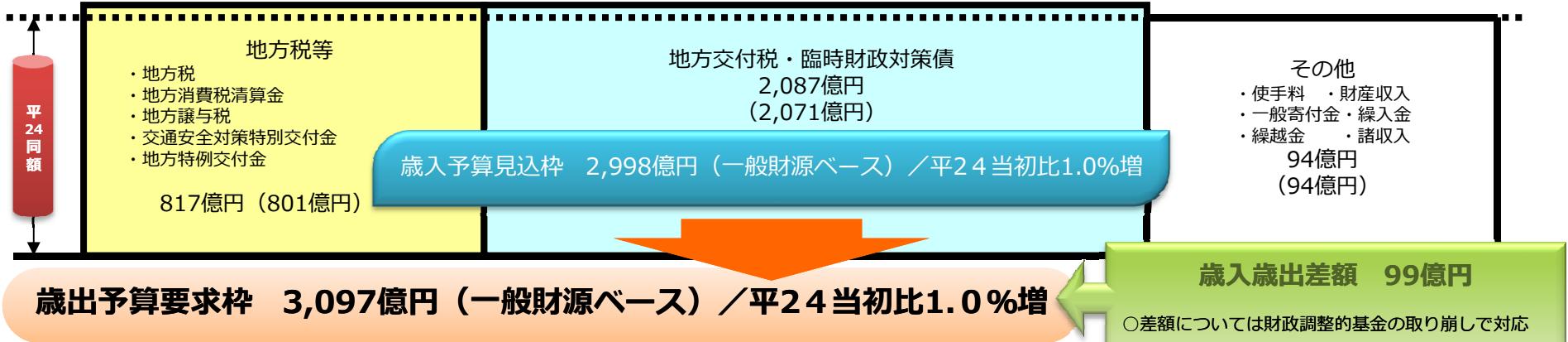
4

国の動向の把握と県予算への反映

- 税制改革の議論、国庫補助事業の地域自主戦略交付金化等、国の動向に留意し、積極的に情報収集を行い、本県への影響を見極めた上で確実に予算に反映。

II 予算要求フレームの考え方

(注)
 ・「今後の財政収支の試算について（H24.9.13）」に基づき算出。
 ・金額は全て一般財源ベース。
 ・（ ）は平成24年度当初予算。



Ⅲ 予算編成の主なスケジュール（予定）

2012 10月	○ 11日 予算編成方針通知
11月	○ 12日 予算見積書提出期限 ○ 14日 予算見積概要公表資料財政課提出期限 ○ 下旬 各部局から予算見積概要の知事レク（12月上旬まで）
12月	○ 上旬 当初予算見積概要の公表
2013 1月	○ 中旬 財政課長内示、総務部長協議、総務部長内示 ○ 下旬 知事査定
2月	○ 中旬 当初予算案記者発表